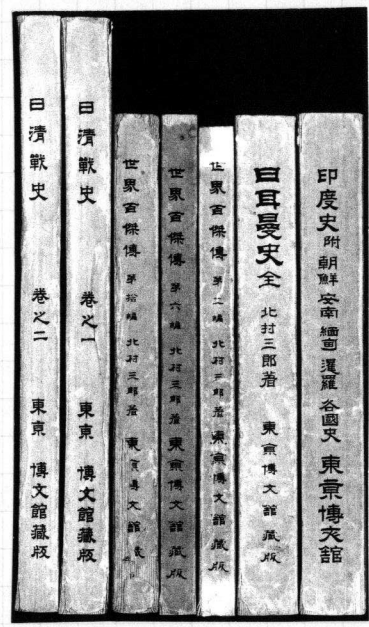


川崎紫山 しほやま 史論家、漢詩人。元治元年五月四日常陸國生乳、昭和十八年五月十一日没（二六四—一九四三）。舊姓北村、本名二郎。別號北武淡輝、千山萬水樓主人、紫山山人、紫山狂夫、紫山逸人、蘆中之人、蘆中雪客北武士等。自瀟谷小學、上京して外國語を研修。明治二十五年『経世新報』主筆、二十四年『中央新聞』主筆、二十八年『信濃毎日新聞』主筆。この間天佑來て後援し、黑龍會の創設に参劃。

著書に『新帝國策』（明治二十年五月十六日興文社）、『帝國憲法正解』（明治二十二年一月二十七日石川商店）、『實地應用技藝百科全書・第壹編』（合著・内山正始編、明治二十二年六月二十日博文館）、『印度史』 附朝鮮 支那 暹羅 各國史（明治二十二年十一月二十日博文館）

『萬國歴史全書』、
 『耳曼史』 附 亞細亞 古國史 波 斯史 埃及史 亞刺比亞（明治二十二年一月二十日博文館）

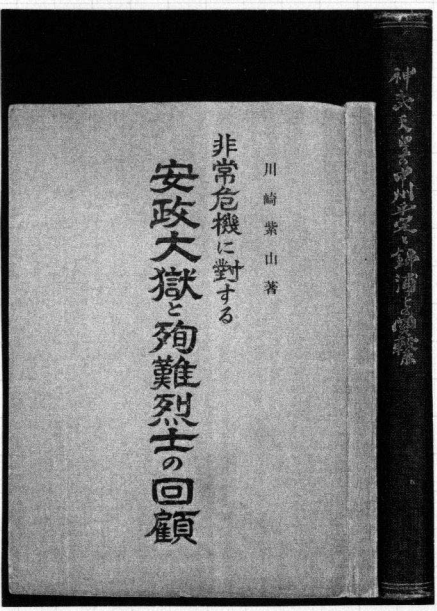


『世界宣傳傳』（第貳編・明治二十二年四月二十六日、第三編・五月二十五日、第六編・八月二十一日、第七編・十月二十九日、第九編・二十四年一月二十二日、第十編・一月二十二日博文館）、
 『萬國歴史全書』、
 『耳曼史』（明治二十二年六月二十七日博文館）

『萬國歴史全書』、
 『白耳曼史』（明治二十二年九月七日博文館）
 『萬國歴史全書』、
 『歐洲列國史』 瑞典 諾威 薩丁尼亞 白耳曼 義西 班牙 葡萄牙（明治二十二年十月二十日博文館）
 『萬國歴史全書』以上北村二郎名、
 『西

南戰史』（第壹編・明治二十六年七月二十一日、第貳編・八月四日、第二編・八月十九日、第八編・十一月四日博文館）、
 『白清戰史』（卷

之一・明治二十九年十一月十八日、卷之二・三十年一月十五日博文館）、『曲郷南洲』（明治二十年六月）、二十二年春陽堂）、『暮木三俊』（明治二十年十一月）、二十七年春陽堂）、『大久保甲東』（明治二十一年四月九日春陽堂）、『木戸松菊』（明治二十二年十一月）、二十九年春陽堂）、『青すたれ』（合著、明治二十四年一月）、二十九年春陽堂）、『東邦之偉人』（明治二十六年六月）、二十日文武堂書店）、『戦争の動機』（明治二十七年七月）、二十五日金港堂書籍株式会社）、『神武天皇の中州平定』（錦浦との關繫）（昭和六年九月）、二十五日神武天皇聖蹟顕彰會）、『非常危機に對する安政大獄と殉難烈士の回顧』（昭和九年一月一日日本時代社）、『南北紀游詩稿』（昭和十四年九月一日自刊）等。



川崎紫山著
 非常危機に對する
安政大獄と殉難烈士の回顧